



4. コミュニケーション支援ツール

スイッチ教材の活用

～教科領域名：自立活動・注入時～

小学部

1 活用するICT機器等

スイッチ教材、扇風機

2 ねらい

- ・目と手の協応動作の活用を促す。
- ・他者とのやりとりをし、スイッチを押すことや握ろうとする気持ちへとつなげる。
- ・自分が発信したことで、何らかの変化が生じたことに気付く。

3 実践



スイッチの部分に、発砲スチロールをはめ、わずかな力でも電源が入るようにした。

扇風機のプロペラの部分が、触れても怪我しない素材を使用している。



注入中、側臥位姿勢になり、その間手なめをしていることが多い。

風を感じて心地よいと思うことで、繰り返しスイッチを自分から握る様子が見られる。



回を重ねるごとに、握るだけでなく押したりするようになった。距離感もつかめてきた様子で、探索活動も出てきている。ずっと継続して握ることもあった。

4 成果と課題

- ・声かけ「もう一回やってみて」というと、自分からスイッチの場所を探して、手で握ろうとすることが増えてきた。
- ・スイッチを押していても、手なめをしていることがあるため、両手での活動へとつなげたい。